

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
津駅周辺地区

平成29年10月

三重県津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----|---------------|-----|------|------|----------|-------------|------------|---------------|-------|----------------|------------------------------------|--|--|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| 指標1 | 当該地区の人身事故件数 | 件/年 | 112 | 112 | 94 | 確定 見込み ● | ○ | あり なし | 29 | H29年4月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 道路事業、東西連絡通路等の整備や土地区画整理事業により、道路空間の改善が図られたが、平成27年度の人身事故件数が著しく減少したため、平成28年度においても継続して測定した結果、横ばいであったため目標の達成が確認できた。これにより便利で安全なまちづくりが実現しつつある。 |
| 指標2 | 公共用地率の増加 | % | 11.8 | 19.0 | 19.5 | 確定 見込み ● | ○ | あり なし | 19.51 | H26年8月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 適切な事業進捗管理を行い、目標を達成した。これにより区域内に道路、公園等の一定の公共空間が整備でき、防災・防犯面、安全性に優れたまちづくりが実現しつつある。 |
| 指標3 | ワークショップへの参加人数 | 人/年 | 78 | 150 | 150 | 確定 見込み ● | ○ | あり なし | 156 | H26年8月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 住民の参加と協働による土地区画整理事業の推進により、住みやすいまちを築くことができた。特に25年度は防災・防犯意識を高めるための防災訓練やワークショップが開催され、目標を達成した。 |
| 指標4 | | | | | | 確定 見込み | | あり なし | | H 年 月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |
| 指標5 | | | | | | 確定 見込み | | あり なし | | H 年 月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----------|----------------|-----|-----|------|----------|-----------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|--|--|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| その他の数値指標1 | 計画期間内の土地利用更新件数 | 件 | / | / | 30 | 確定 見込み | / | / | 34 | H26年8月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 道路等公共施設の整備に伴い仮換地における土地利用が更新され暮らしに活力をもたらした。 |
| その他の数値指標2 | | | / | / | | 確定 見込み | / | / | | H 年 月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |
| その他の数値指標3 | | | / | / | | 確定 見込み | / | / | | H 年 月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項) | | 実施した具体的な内容 | 実施した結果 | 今後の課題 その他特記事項 |
|--|---------------------------------|---|--|--|
| ・成果を持続させるために 行う方策 | 主要な公共公益施設へのアクセス確保 | 津駅栄町線ほか4路線交差点改良事業、浜田長岡線改良事業、納所長岡線改良事業の完成により、主要な公共公益施設へのアクセスが確保された | 朝夕の通勤時間帯の交通渋滞の緩和となった | 土地区画整理事業の事業区域内に未整備箇所が残り、完成部分については関係部署と連携を図り、維持管理に努める |
| | 交通渋滞の改善 | 津駅栄町線ほか4路線交差点改良事業、浜田長岡線改良事業、納所長岡線改良事業の完成により、交通渋滞が改善された | 同上 | 同上 |
| | 津駅東西連絡線改良事業の完成により、市民生活の安心・安全の確保 | エレベーターの設置を行い、市民の安心・安全の確保ができた | 高齢者及び身障者にとって津駅東西への移動が容易なものとなった | 施設等のハード面の整備は完成となるが、ソフト面での充実を図る |
| | 防犯灯設置事業の完成により、市民の安心・安全の確保 | 土地区画整理事業区域内へ防犯灯の設置を行った | 区画が整理され道路を整備することにより、地区全体の見通しが良くなりまた、防犯灯の設置により安全面が確保された | 防犯灯の未設置場所がある |
| 改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 | 土地区画整理事業の推進 | 土地区画整理事業の進捗により、生活道路等が整備され市民生活の安心安全が確保された | 現在整備中である | 土地区画整理事業の事業期間を延伸し鉄道事業者との協議の進展や、地権者との合意形成を図り、生活道路、公園の整備を完成させる |
| | ふれあい道路、公園の整備 | 今後整備するふれあい道路、公園の整備について地元とのワークショップの開催で意見交換を行った | 今後の整備において地域の意向を踏まえた実施計画を策定することができる | 高質空間形成における住民との協議を重ねる必要がある |
| | | | | |

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|--------------------|-------|------|--------------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

都市再生整備計画(精算報告書)

つ え き し ゅ う へ ん ち く
津 駅 周 辺 地 区

み え つ
三 重 県 津 市

平成29年10月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|-----|------|----|-----|--------|----|--------|
| 都道府県名 | 三重県 | 市町村名 | 津市 | 地区名 | 津駅周辺地区 | 面積 | 389 ha |
|-------|-----|------|----|-----|--------|----|--------|

| | | | |
|------|---------------------|------|---------------------|
| 計画期間 | 平成 21 年度 ~ 平成 25 年度 | 交付期間 | 平成 21 年度 ~ 平成 25 年度 |
|------|---------------------|------|---------------------|

| |
|--|
| 目標 【大目標】 安全・安心な市民の暮らしを支えるまちづくりを推進する。 【小目標】 ①駅周辺区域や住宅地において、基盤整備を進め、生活利便性が高く、交通安全に寄与するまちづくりを推進する。 ②市街地における道路、公園等の公共空間の整備を進め、防災・防犯面にも優れた安全安心なまちづくりを推進する。 ③市民の「参加」と「協働」により、防災・防犯への意識を向上させ、市民にとって住みやすいまちを築く。 |
|--|

| |
|--|
| 目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 本市及び松阪市を中心とする津・松阪地方拠点都市地域においては、産業業務等の都市機能や居住環境の向上などにより、「職・住・遊・学」が備わった総合的な生活空間の形成を目指した取り組みを行っている。そうした中、本市は研究開発を中心とした産業業務機能の充実や市街地開発事業等による都市基盤施設の充実を進めるとともに、特色ある地域の振興を図る地域連携軸の構想や、交流人口にも配慮した地域づくりなども進めている。 本地区は津駅周辺の市街地を形成する地区であり、津駅を中心とした駅周辺区域と住居、文化教育施設等が多く集積している津駅西側区域に区分することができる。駅周辺区域は、商業・業務施設も多く集積しているが、基盤整備の遅れが目立ち、駅前の立地条件を活かしていない状況にあり、また歩行者空間も十分に確保出来ていないことから、市民が安全に移動しづらい状況となっている。津駅西側区域は、主に住宅地であり、文化・教育施設等も多く集積しているが、幹線道路が一部未整備であるため、公共公益施設へのアクセス及び緊急輸送路網が確保出来ていない状況である。 近年、市民一人ひとりが防犯意識の向上のため、市民や各種団体、関係機関との連携により犯罪等が起こりにくい明るい地域社会に向けた啓発活動を実施している。 |
|--|

| |
|--|
| 課題 ・幹線道路網が一部未整備であり、主要な公共公益施設へのアクセスが確保されていない。 ・朝夕の通勤・通学時の交通渋滞が著しく、利便性が確保されておらず、また多くの自転車、歩行者が混在、交錯しているため安全性が劣っている。 ・生活道路・公園・歩行者空間が未整備であるため、安心で安全な市民生活の障害となっている。 ・近年、津市における刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、依然件数は多い(平成18年:4,459件)。 |
|--|

| |
|--|
| 将来ビジョン(中長期) 【津市総合計画】 「美しい環境と共生するまちづくり(快適な生活空間の形成)」、「活力あるまちづくり(交流機能の向上)」 【都市マスタープラン】 「住環境の向上・保全」、「幹線道路と生活道路の整備にとる区域内交通の円滑化」、「避難所の整備、緊急輸送網の確保」、「まち、住まいのバリアフリー化」、「都心近郊部の市街地未成熟区域の良好な市街地形成促進」、「活力と魅力ある県都づくりを進めるための交流機能の向上」 |
|--|

| 目標を定量化する指標 | | | | | | | |
|---------------|-----|------------------------------|---|------|------|-----|------|
| 指標 | 単位 | 定義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | | 目標値 | |
| | | | | | 基準年度 | | 目標年度 |
| 当該地区の人身事故件数 | 件/年 | 当該地区における人身事故減少率 | 当該地区の安全性、安心性の向上を図るため、公共施設整備等を行うことで、近年増加傾向にある人身事故件数に歯止めをかける。 | 112 | H19 | 112 | H25 |
| 公共用地率の増加 | % | 津駅前北部地区の公共用地増加率 | 駅周辺の道路、公園などの公共施設整備を進めることにより、拠点都市に相応しいまちづくりを進めるとともに、災害時の延焼防止、消防活動のしやすさといった防災面の向上を図る。 | 11.8 | H20 | 19 | H25 |
| ワークショップへの参加人数 | 人/年 | 住民参加型のまちづくり活動の場の提供による参加者延べ人数 | 住民参加型のまちづくり活動の場の提供を行い、参加者を増やすことにより、住民一人ひとりにまちづくりに対する意識の向上を図るとともに、住みやすいまちを築く。 | 78 | H19 | 150 | H25 |
| | | | | | | | |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|---|---|
| <p>幹線道路網の整備や良好な居住環境の整備等を行い、景観面にも配慮した生活利便性の高い高質な市民生活環境を創出するとともに交通安全に寄与するまちづくりを推進する。</p> | <p>道路(基幹事業/津駅栄町線ほか4路線交差点改良、浜田長岡線、納所長岡線) 高質空間形成施設(基幹事業/津駅東西連絡線) 土地区画整理事業(基幹事業/平成8年3月14日事業計画の決定の公告) 事業活用調査(提案事業/事業効果分析)</p> |
| <p>市街地における幹線道路及び生活道路、公園等の都市基盤の整備により公共空間を創出することで、防災・防犯面に優れ、すべての市民が利用しやすい、安全安心なまちづくりを推進する。</p> | <p>道路(基幹事業/浜田長岡線、納所長岡線) 土地区画整理事業(基幹事業/平成8年3月14日事業計画の決定の公告) 地域創造支援事業(提案事業/防犯灯設置事業) 事業活用調査(提案事業/事業効果分析) まちづくり活動支援事業(提案事業/公園施設計画検討ワークショップ) まちづくり活動支援事業(提案事業/防災・防犯活動推進ワークショップ)</p> |
| <p>市民の知識や行動力を積極的に活かし、暮らしに求められる公共サービスの充実に図り、防災・防犯への意識を向上させるために、市民が主体的にまちづくりに参加できる環境づくり(参加型のまちづくり)と市民と行政が責任を共有するまちづくり(協働型のまちづくり)を推進する。</p> | <p>事業活用調査(提案事業/事業効果分析) まちづくり活動支援事業(提案事業/公園施設計画検討ワークショップ) まちづくり活動支援事業(提案事業/防災・防犯活動推進ワークショップ)</p> |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民参加型のまちづくりの継承 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会(公園、道路、景観等)を設置して、住民や学生等の手によって、まちのデザインの決定や維持管理について随時協議を行う。 ・住民の防災・防犯に対する意識向上を目的としたワークショップの開催を行い、行政や住民ができる防災・防犯活動を協議・実行する。 ・事業完了後においても積極的に官民協働のまちづくりをすすめ、まちづくり協議会の設置やまちづくり活動に努める。 ●住民への周知 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗や成果を随時広報等により住民に知らせ、事業への理解を深めてもらうよう努める。 ・積極的に情報公開を推進し、市民と行政の情報を共有するよう努める。 | |

